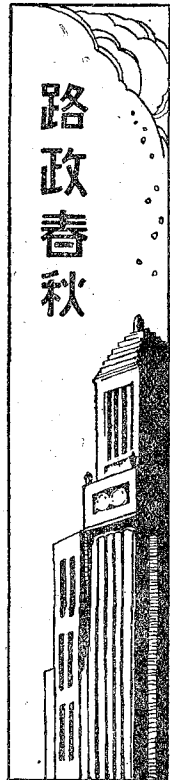


路政春秋



道路連絡に異状あり

時局を反映する珍現象

岡山市では將來の發展に即應せんが都市計畫街路小原町銅の濱線として旭川を東西に結ぶ道路の建設を必要と感じ昨年五月着工爾來工事の進捗を計り八月上旬竣工したるが肝腎かなめな橋梁夫れは總工費六十五萬圓を要する幅員一〇米延長一七二米の旭川に架する鐵橋が事變の影響によつて施工不能に歸した、道路は出來たが之を結ぶ橋がないといふ珍現象を生じた、道路連絡上異状ありといふべきか。

巨足を踏み出す三浦

博士

道路改良會の役員で内務省土木局に十數年間勤務せられた工學博士三浦七郎氏は今や北支土木建設の總指揮の任に當られておるが同博士の大使命は實に容易の業でないことは云ふまでもない。頃日同博士は次の通共感想を述べられた「黄河にせよ、或は永定河にせよ支那において大規模の改修をしたことは從來なかつたのです、外人技術者に委嘱して作つた改修調査資料はありますが手をつけてはゐない、今こそ日本は大きな足跡を新支那の大地に印さねばならぬ大事な時機です、しかしこれは議論の餘

注

本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に渡らざる限り奇想天外的の奇稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯部に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

地があるでせうが、元來技術方面の仕事は特に進歩性を有してゐますから或る程度の期間ごとに新進の技術者に仕事をリレーして行く必要があるではないでせうか、さうしたことを考へさせられます。勿論この土地の人になるつもりで働く人もあつてほしい、そしてその一面には次々と新しい眼で是正していくやり方も考慮されてしかるべきものです。適材適所と謂ふ處大切に博士の自重自愛を祈る。

一粒の米も節約すれ

ば

米を磨く時などに十粒を無駄にすると假定計算すると全國千八百七十六萬千四百

七十三世帯では二十七石六斗となり、一年では一萬餘石で一升四十錢として計算すると四十萬餘圓となる、之れ丈れの米が水に流されて居る譯である、なんと驚くべきこととでなからうか、宴會などで杯の酒を水盤に捨つるの量を計算することが出来れば更に驚くべき無駄を發見するであらう。無駄は省くべきである。

金物顔負けの竹細工

熊本市の竹箒製造業某は代用品研究時代の波に乗つて竹の利用研究を考へ竹で何んでも出来る、と計り次の如き製品を製作しておる、軸受—工場といふ工場は必ずシャフトを澤山とりつけてゐるが、これは全部金屬製だ、これは竹を縦に割つて重ねて製造した竹の軸受を作つたもので、鐵製品よりは遙かに頑丈で耐久性に富むとのことで試作した船舶用軸承は商工省へ提出、目下試験中、軍服ボタン—金ボタン代用の竹ボタ

ンは陸軍省の照會で試作し目下軍當局で耐久力試験中だが、これも代用品の方が眞物より強いと巽さんの自慢の一ツ、齒ブラシの柄—あの白い艶々しい齒ブラシの柄は何と輸入牛骨だ、輸入防遏をめざしてこれも竹の代用品を製造したが、丈夫な美しいもので目下有名な齒ブラシ會社に送付試験中、尙鹿兒島縣で金屬代用として竹製の洗面器・ペケツ等が現はれた、これらは金屬よりずつと軽く持運びが輕便であるばかりでなく金屬製のやうにペコ／＼凹んだりするやうな恐れもない、おまけに値段も安いと來てゐるので一般に歡迎されること請合だとみられてゐる、只慾を云へば青エナメルで全部塗り潰されてゐることとこの色合だけを他の適當な色に塗り替へれば申分なしと見られてゐる窮すれば通ずと云ふ譯であらう。

海の交通を妨害する

ものは

巨大な氷山が今も北極地から北大西洋の汽船の航路に流れ込んでくると、アメリカ海軍水路部で報告してゐる。…本年に至つてから既に七〇〇以上の氷山がみとめられたがこの數は一九〇〇年以來の年平均數よりも既に五割も多い、平均數は四二一である。一體一九三八年の氷山の數は五三〇と豫想されてゐるが、この數は既に六月一日以前に空破されてしまつた。それ以來も依然として氷山は流れ來てをり、それも甚だ危険なものであると水路部では云つてゐる。…アメリカとヨーロッパの間を往復する北方航海の汽船は、この危険を避けるために、尙數週間の間は規定航路よりも遙か南方を通はなければならぬであらう規定航路は氷山の危険區域の眞只中を通つてゐるからである。と海の魔物の跋扈跳梁を制するの方策なきか。